

## 『授業を見直そう～みんなが輝く、生き生きとした会話授業を！』

今回のサタラボは、学習者と語り合うため、「読む」教材を取り上げます。皆さんは、学習者に話す力をつけてもらうため、どんな授業をしていますか。毎回、フリーカンバセーションだと上達が感じられない。どんなテーマで話せば話が盛り上がるのか悩んでいませんか。マンネリ化していませんか。学習者は達成感を感じていますか。自分の得意分野なら自信があるけれど…と感じていないでしょうか。年齢差のある学習者と、興味の違いで話が盛り上がらない、上っ面の無難な話で終わり深い議論にならないということはありませんか。

「話す力」をつけるため、教師にはどんなことができるでしょう。学習者自身が情報を得て他者に伝え、自信をもって自分の意見を言う。話せることを増やし、教師が口を挟まなくてもどんどん話が進む。そんなクラスが理想的なんだけど…私はそう感じるが多々ありました。加えて達成感や満足感を感じてもらうには、どんな工夫ができるのか。会話授業のテーマは長年私の悩みの種でした。グループレッスンとなるとそれぞれの興味が異なり、上級になると日常の話ではチャレンジングではなく、企業研修のディスカッションでも業務上のことは口外できません。まず情報を読み込み、他者の意見を聞き、自分の意見を主張する…『「読む」からはじめる日本語会話ワークブック』に出会ったとき、「これだ！」と思ったのです。初中級～上級、プライベートレッスンから多国籍クラスまで使えます。

テキストには万国共通の10のテーマがあります。「ルール」、「見た目」、「正義」、「普通」などですが、実際にグループレッスンで使ってみると意見が飛び交い、あっという間に時間が経ちます。10のテーマが終わる頃には、私もこのテキストに倣い、学習者に合わせたテーマと話すために読む情報を提供することができるようになりました。すると、学習者たちも自主的にテーマと情報を提供してくれるようになりました。

今回は、著者のおひとり、森勇樹さんが模擬授業をしてくださいます。まず学習者体験を楽しんでください。その後、教師としてアイデアを出し合いましょ。現在は、在日米国大使館・日本語研修プログラム主任教官の森さんはアゼルバイジャン共和国、マレーシアでの教師経験もあります。懇親会ではいろいろ聞いてみてくださいね。

### 【講師・森勇樹さんからのことば】

会話の授業を担当するのに、学習者の発話をうまく引き出せなかった、学習者に興味を示してもらえなかった、授業後に振り返ってみると結局自分の発話量が一番多かった、などの経験はございませんか。私はあります！（苦笑）今回は学習者も自分も楽しめる会話授業を一緒に考えましょ。みなさんからのインプットを楽しみにしております！

日時：2025年4月20日(日)9:00-12:00 開場 8:45 懇親会：12:15-14:00(希望者のみ)

会場：zoom ※URLは正式受付完了後、お知らせいたします。

対象者：日本語教師・日本語ボランティア教師&日本語教育関係者、他（定員：先着40名）

申込フォーム：右のQRコード、下のリンクよりフォームにアクセスできます。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdBphi66hIahX7dC1vJm8zkLpyYJ39iPkh1GUKxnyNAb4K-MQ/viewform?usp=dialog>



※お申し込み後、振込先をお知らせします。お振込完了後、正式に受付完了となります。

参加費：3,000円（当日キャンセルの場合はご返金できません） 懇親会費：無料（飲食はご自由に）

主催：サタラボ【代表】小山暁子

お問い合わせ：[satalabo1@gmail.com](mailto:satalabo1@gmail.com)（事務局：伊藤麻友子・森谷智美・渡辺倫弥）